

石油火力における環境負荷低減の取り組み

2023年4月11日
東北電力株式会社

- 当社の石油火力は現時点で秋田火力発電所4号のみ（2024年7月に廃止予定）となっております。
- 同発電所は、至近では、主に調整用に用いられており、経済性の観点から必要最小限の設備で運用してきました。（なお、昭和50年代、3号機に脱硫装置を設置していた実績はありますが、その後石油火力の稼働率が低下するに伴い設備は廃止し、その後は設置しておりません。）
- 環境規制に対応※するため、比較的単価の高い低硫黄C重油（主に硫黄分0.2%以下）を使用しておりますが、需要期を見越した調達等の工夫により、経済性を確保しております。

※秋田県との公害防止協定で定める「使用燃料硫黄含有率0.27%以下」を遵守

【秋田火力発電所4号の概要】

使用燃料	重油・原油
最大出力	60万kW
運転開始年月	1980年7月
運転廃止時期（予定）	2024年7月



秋田火力発電所（秋田県秋田市）

【低硫黄C重油の調達】

- ✓ 低硫黄C重油は、供給量が限定的であり調達リードタイムが必要になることから、需要が増加する時期を見越して、一定数量の調達を需要期前に行うことで、経済的かつ安定的な燃料確保を実施しております（一般的に硫黄分が低いほど価格は上昇）。



重油外航船（5,000kl級タンカー）

《申請各社の再算定結果概要（石油）》

	北海道	東北	北陸	中国	四国	沖縄
申請調達単価 （円/kl）	94,460	129,673	93,914	87,831	86,509	—
平均硫黄含有率	2.22%	0.19%	1.90%	2.35%	2.00%	—

※2023年4月4日 第40回料金制度専門会合資料より